

## シリーズ企画

# 今年の世界禁煙デー報告と 韓国の居酒屋・タバコ事情

産業医科大学産業生態科学研究所  
健康開発科学研究所 教授 大和 浩

毎年5月31日の世界禁煙デーの前後はタバコ関連のイベントが続きます。

### 世界禁煙デー・イベント

「たばこの規制に関する世界保健機関枠組条約（FCTC）発効から10年、受動喫煙のないTokyoをめざそう！」をメインテーマにタバコ問題首都圏協議会主催の世界禁煙デー（World No Tobacco Day）記念イベント2015 in Tokyoが開催されました。

東京都議会公明党の喫煙対策リーダーの野上純子議員、東京都医師会会長で禁煙推進派の尾崎治夫先生、グローバルダイニング（全面禁煙のレストランチェーン）取締役の山下優子氏、日本橋で禁煙外来に熱心に取り組んでいる村松弘康院長らにより、2020年の東京オリンピック・パラリンピック大会までにレストランと居酒屋を含め全面禁煙とする条例の必要性について討議されました（図1）。今年のイベントが50年前に設置された国立オリンピック記念青少年総合センターで討議されたことは、特に意義深いことだったと思います。



（図2）Smoke-free Walkを先導するスモークフリーキャラバンカーの側面には「受動喫煙を防止し、健康な日本に！」



（図1）タバコ問題首都圏協議会シンポジウム  
（右：野上都議、左：尾崎東京都医師会会長）

シンポジウム終了後、Smoke-Free Walk in Tokyo 2015が、代々木公園～渋谷区役所前～渋谷公園通り～渋谷駅前スクランブル交差点～宮益坂下～青山通り～表参道～原宿駅前～代々木公園まで、禁煙サインのついた先導車、タバコの着ぐるみ、プラカードや幟<sup>のぼり</sup>を掲げて総勢100人のデモ行進でした（図2、3）。私は、このようなデモ行進には初参加でしたが、事前に届けておくと警察の先



（図3）渋谷の交差点を通過するSmoke-free Walk

導があり、信号も調節されて車道を歩ける、ということを知りました。表参道や原宿の繁華街で、道行く人々からの注目を浴びながらの1時間は貴重な経験でした。唇の動きから「タバコ」が読み取れましたので、タバコ対策を問題にしているグループが存在することをアピール出来たと思います。

翌31日は日本医師会主催の世界禁煙デー・イベント「受動喫煙防止条例制定に向けて」が日本医師会講堂で開催されました。第一部は、①受動喫煙のない日本をめざす委員会委員長の下光輝一先生(健康・体力づくり事業財団理事長)、②日本医師会常任理事羽鳥裕先生、③厚生労働省健康局がん対策・健康増進課の正林督章課長と、そうそうたる顔ぶれです。ちなみに、正林先生は2003年の健康増進法第25条「受動喫煙の防止」の法案づくりを担当され「受動喫煙問題には思い入れがあります」と挨拶されました。

第2部の座長は東京都受動喫煙防止対策検討会の委員でもあった結核予防会理事長の工藤翔二先生(元日本医科大学呼吸器科教授)。演者と演題は下記の通り。

- ① 東京オリンピック・パラリンピックを迎えるにあたって無煙環境をどのように整えるか?  
国立がん研究センターがん対策情報センターたばこ政策研究部長 望月 友美子先生
- ② 受動喫煙の健康被害の実態  
中央内科クリニック院長 村松 弘康先生
- ③ 東京都医師会の受動喫煙防止条例への取り組み  
杏林大学医学部 野村 英樹教授
- ④ 受動喫煙防止法制定への取り組み：法律化への取り組み状況の報告  
東京オリンピック・パラリンピックにむけて受動喫煙防止法を実現する議員連盟幹事長 松沢 成文参議院議員

シンポジウムでは、2020年まであと5年しかないこと、受動喫煙防止条例・法律の成立には議会・国会での承認が必要であり、「今」、国会議員、都議、厚生労働省などに働きかけ、そ



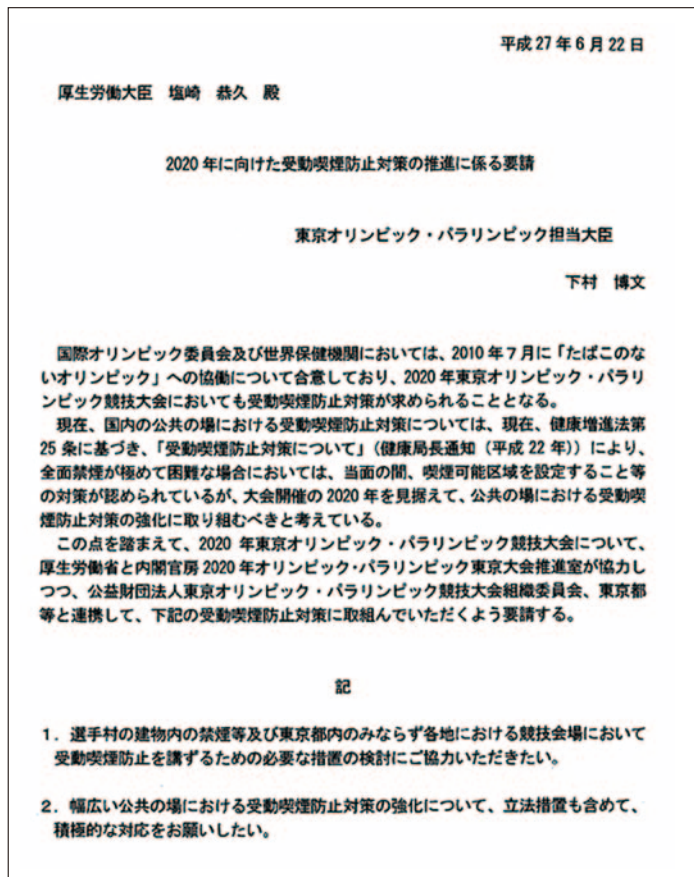
(図4) 望月先生の発表で使われたコメント

れを後押しする世論を形成することが大切である、と熱く討議されました。

各発表で「これは産業医科大学の大和先生にいただいたスライドですが」と何度も研究成果が紹介され、東京オリ・パラ大会に向けてさらに頑張ろう、とモチベーションが上がりました(図4)。

### 関係大臣と政府の動き

6月22日、下村五輪担当大臣が塩崎厚生労働大臣に「公共の場での受動喫煙防止対策の立法措置」



(図5) 下村大臣から塩崎大臣への要請書

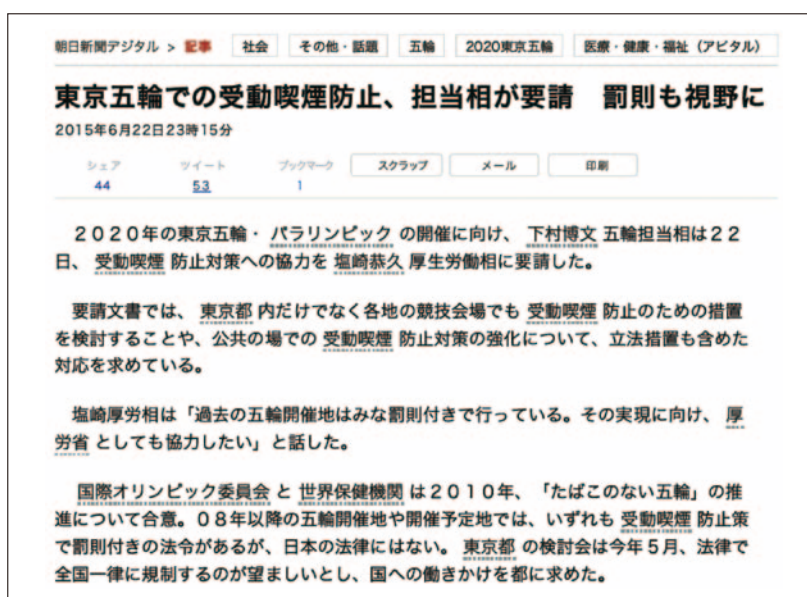
を求めた要請が提出され(図5)、メディアでも報道されました(図6)。オリ・パラ大会の会場は埼玉県、宮城県、札幌市など東京都以外にも広がります。東京都だけの問題ではなくなった受動喫煙防止対策は、日本国全体の問題である、と6月25日に新たに設けられた五輪専任の遠藤大臣にしっかりと引き継いで欲しいものです。

### 韓国居酒屋情報

6月1日からソウルの国際労働衛生会議に出席し、当研究室からは姜英助教が「職場を全面禁煙にすると喫煙率が下がることの検証」をポスター発表しました。今回の韓国訪問は、学会出席以外に重要な目的がありました。2015年1月1日から「居酒屋も含めてすべての屋内が全面禁煙化された。違反者は10万ウォン（9千円）、お店側にも170万ウォン(15万円)の罰金つき」という情報がどこまで遵守されているのかを確かめることです。宿泊したホテルは新橋のような雰囲気のある場所だったので、朝は定食屋の、夜は居酒屋ウォッチングに最適でした。

まず、初日にビックリしたのは、屋外のテラス席まで禁煙であったことです(図7)。欧米では屋内は禁煙だがテラス席は喫煙可の国が多いのですが、後発国の規制は先発国をしのいでいました。かつ、ルールは厳密に守られていたことです。写真のように屋外にもテーブルを並べているお店の専有部分から一歩外に出た歩道の一斗缶を灰皿にして3人が喫煙していました。受動喫煙を防止する、という点では意味はないが、少なくとも法律は厳密に守られていました。遅い時間になるとテーブルで喫煙していた不心得者を2回見かけましたが、99%の人は夜でもルールを守っていました。

2日目に入った小さな居酒屋には、どの方向にも複数の禁煙マークがあって、きちんとルールは守られていました(図8)。韓国人の喫煙率は日本よりも高いので、この居酒屋にもそれなりの喫煙者はいたのですが、店外で喫煙して席に戻る、とい



(図6)東京五輪と受動喫煙防止の必要性を報じた記事



(図7)法律で「テラス席も禁煙」を守って店舗外の歩道で喫煙する3人の男性



(図8)禁煙マークを指さす私(左)、同行した姜助教(中央)、韓国の金先生(右)

うスタイルは法律施行から半年ですっかり定着していました。同席した韓国の先生に「2018年の平昌オリンピックの準備として禁煙化されたのか？」と聞いたところ、数年前から受動喫煙に対する風当たりが強くなっていたこと、韓国人は「あなたのタバコは臭い」とハッキリ言うため店内で吸いにくい雰囲気が出ていた、とのことであった。その先生は、国際オリンピック委員会とWHOが「タバコのないオリンピックに関する合意文書」を取り交わしており、オリンピック開催都市・国は屋内全面禁煙が求められていることはご存じではありませんでした。きっと、屋内禁煙法を決定した政治家たちはオリンピック大会に禁煙が必要であることは知っていたと思いますが、韓国ではその前から「受動喫煙はダメ・嫌い」という雰囲気が醸成されていたことが法律の成立を後押しし、スムーズに施行された原因のようでした。私たちが「受動喫煙のない飲食店で食べたい」ということをアピールしていきましょう。

### 電子タバコの流行

もう一つビックリしたのは、電子タバコの普及です。1時間ほどの散歩で10人近くの電子タバコ使用者を見かけました(図9)。写真の若い女性に聞いたところ「1月からタバコが2,500ウォンから4,500ウォンに値上げされたので、普通のタバコよりも電子タバコの方が安い」というのが使用理由でした。私も委員として参加している厚生労働省の「たばこの健康影響評価専門委員会」では、紙巻きタバコだけでなく電子タバコの成分も検討されており、製品によっては紙巻きタバコよりもホルムアルデヒドが大量に発生することが報告されていました。会議の中では、内心、電子タバコ対策の前に紙巻きタバコ対策を優先すべきだろう、と思っていたのですが、韓国での電子タバコの普及状況を見たことで、日本でも流行し始める前に規制するべきだ、と思い始めたところでした。



(図9)電子タバコの蒸気(Vape)を吐きだす若い女性

### 北京市でも厳格な屋内禁煙条例

6月1日、「北京のレストランも全面禁煙徹底」というニュースが流れました(図10)。北京市は2022年の冬季オリンピックに立候補しており、開催地決定の投票が7月31日のIOC総会で行われます。2008年の夏季五輪で屋内を禁煙とする条例が出来ましたが、それを厳格化した内容です。早晩、中国全土が禁煙化されるでしょう。となると、

日本経済新聞  
2015年7月2日 (木)

Web刊 速報 ビジネスリーダー マーケット マネー テクノロジー ライフ スポーツ 映像 朝刊

全て 経済 企業 国際 政治 株・金融 スポーツ 社会 ニュース18時 その他ジャンル▼

速報  
北京、屋内全面禁煙に 「喫煙天国」で条例施行  
2015/6/2 0:44

小 大 保存 印刷 リプリント 共有

【北京＝共同】中国・北京市は1日から職場など屋内での喫煙を全面的に禁止する世界的にも厳しい禁煙条例を施行した。2022年冬季五輪招致の成功に向け、喫煙大国の首都のイメージ改善を目指す。

「北京市喫煙管理条例」は、空港や駅など公共の場所やオフィスビル、飲食店など「屋根のある場所」での喫煙を禁止。屋外でも指定場所以外の喫煙は認めない。

中国メディアによると、個人の違反者には最高200元(約4千円)、会社や飲食店などが違法に喫煙場所を設置した場合、最高3万円の罰金を科す。学校周辺100メートル以内のたばこの販売を禁止、待ち合わせの列などでの喫煙も禁じる。

中国は世界最大のたばこの生産国、消費国で、成人の3割近くにあたる約3億人が喫煙。毎年100万人超が喫煙関連の疾病で死亡し受動喫煙者も7億人を超える。

北京五輪のメイン会場に掲げられた巨大な禁煙マーク(5月31日)＝共同

(図10)北京市で厳格化された屋内禁煙条例の報道

レストランや居酒屋でタバコが吸えるのは北朝鮮と日本だけになってしまいます。厚生労働省は5月から「国民の皆様の声」として意見を募集しています（図11）。タバコ対策で日本がガラパゴス化しないように意見を送りましょう。

最後に、この6月から日本禁煙推進医師歯科医師連盟の事務局を健康開発科学研究所が引き受けました。新規会員を募集中です。ちなみに、禁煙医師連の中で私は中堅クラスです。日本の各地で喫煙対策に没頭している猛者たちと一緒にタバコ対策に参加してみませんか？申し込みは下記から。  
電子メール:nosmoke-adm@umin.ac.jp  
専用電話:070-5497-5742



(図11) 厚生労働省のホームページ（「国民の皆様の声」で検索）

## 北九州市医師会会員の先生方へ

### 北九州医師事業協同組合へ加入してみませんか？

勤務医（B会員）の先生方も賛助会員として加入可能です。加入条件、サービス内容等は組合員と同様で、協同組合ならではの多種多様な特典をご用意しております。

#### 加入のメリットとは

- 特典① 組合員向けの保険制度（生命保険・損害保険）がご利用いただけます。
- 特典② 医学書、その他一般書籍購入の際、割引特典（最大10%割引）が受けられます。
- 特典③ 井筒屋・下関大丸との特別契約が受けられます。
- 特典④ 葬儀支援サービス（年会費無料）をご利用いただけます。
- 特典⑤ 多種多様な商品及びサービスを組合員価格にてご提供いたします。
- 特典⑥ 毎月お得な情報をご案内致します。

加入資格：北九州市医師会の会員であること

加入費用：出資金 1口5,000円（退会の際にお返しいたします） 賦課金 1ヶ月500円をご負担（年度分を一括払い）  
※毎月の通信費等に利用

加入手続きは随時受付しております。組合事務局までお問い合わせください。

## 北九州医師事業協同組合

【住 所】北九州市小倉北区古船場町1番35号 北九州市立商工貿易会館7階

【電話番号】093-512-1723 【FAX番号】093-512-1724

ホームページ <http://www.zen-ikyoo.or.jp/kitakyushu/> E-mail: [kitakyu-ikyoo@kmbc.or.jp](mailto:kitakyu-ikyoo@kmbc.or.jp)